

## 平成15年度(特)日本障害者スキー連盟定期総会議事録

日 時：平成15年9月28日(日)9:00 - 12:00

場 所：全国身体障害者福祉センター「戸山サンライズ」

1. 開会通告(野村事務局長)
2. 会長あいさつ(田村会長)
3. 総会議長選出(HSAJ 齊藤信治代議員を選出)
4. 議事録署名人選出(HSAJ 長谷部代議員、クロカン花澤代議員を選出)  
書記の指名(平野事務局次長)
5. 報告事項 定足数確認(出席12名、委任状10名、計22名定員27名中で総会の成立を宣言した。  
(委任状の中に欠席の代議員、理事への委任があり、本来は無効であるが、議長の了解を得て委任状として認めていただいた)

### 6. 審議事項

第1号議案 平成14年度事業報告(p2 - 62)

以下の事項が追加報告され、質疑応答の後拍手を持って承認した。

事務局：常任理事会は事業の執行を行う機関として常任理事を招集権者としH15年1月より隔月1回実施した。

FISDの会議派遣は費用がかさむことから、松井理事にSAJとしての派遣と合わせて出席を依頼した。H15年10月の会議にも出席を依頼している。

障害者スキー教本『ボールドトラックス』(SIA編)に出版協力した。野村理事を通じて販売するとマージンが連盟の収入となるので協力をお願いした。

ニューリアルが遅れているHPは10月には更新の予定となっている。

強化部：アルペンは菅平で延べ681名の参加で強化練習を実施した。安比合宿は31名の参加であった。WC、ECでメダルを獲得でき強化が果たせた。クロカンは地域ごとの強化を行い、世界選手権で新田選手が金メダルを獲得した。ID選手がインカレに特別枠で参加した。

普及部：バイスキーとブラインドスキーの指導者研修会を実施し、よい資料ができあがった。参加者のスキー技術に差がありすぎて問題が出た。

2003JP：クロカンは青森で、アルペンは岩手での開催となった。大雪のため、アルペンは1レースがキャンセルとなった。

正会員団体 クロカン：医療事業団の助成金により新規に全日本障害者クロカン競技大会を実施した。

ID：H14年11月に発足し4団体目の傘下団体となった。講習会中心の大会を実施しJPに向けて選手を選出した。

米谷理事：デフリンピックに荒井理事を総監督として依頼した。アルペンとスノーボードの選手を派遣し、スノーボードで男女とも初参加で金メダルを獲得した。

・ 質疑応答

阿部代議員：強化について、菅平の強化練習について延べではなく、全国に散らばっている強化選手もいるので、参加状況の実態を知りたい。

目黒理事：詳細については、別途送付する。1カ所では難しいと感じ数カ所の練習場所を確保することで動いている。

第2号議案 平成14年度収支決算報告及び監査報告（p - 73）

以下の事項が変更、追加報告され、質疑応答の後拍手を持って承認した。

野村事務局長：監事よりNPOとして東京都への報告書（p64 - 67）では内容が判らない、借入金が入入にあることで収支の合計が違って判りにくいと指摘があったため、差し替えた資料を内部資料として説明を行う。

寄付金の「付」を変更のこと。

東北ブロックから指導員研修会へ、スポーツ協会からは強化費、笹川はジュニアキャンプへの助成金があった。

「ヨッテク」は横浜ヒューマンテックノランドというイベントであり、その際、広報委員である坪井常任理事が労を執り、物品を販売した金額が寄付された。雑収入は本の売り上げ他である。

管理費の国際会議派遣は、H13年度分の未払いだったもの

不足分を会長、副会長、常任理事より借り入れし短期負債となっている。

佐川監事より以下の監査報告が行われた。

佐川監事：9月24日に連盟事務局で監査を実施した。会計処理、事業内容については一考を要する部分はあるが、適正に処理されていた。東京都への報告書式の変更はできないが、内部資料は代議員にわかりやすい形に変更した方がよいと考え、差し替え資料の形を提案した。次年度以降資金調達を理事中心に協力していく必要がある。

第3号議案 役員の選任について（p74）

野村事務局長より以下の追加説明があり、拍手を持って承認した。承認後、湯本理事が挨拶を行った。

日本ろうあ連盟からの派遣理事が渡部理事から米谷理事に変更がされた。

野村事務局長の選出母体がクロカンからFIDへ変更された。

平野理事がH15年度事業部を設立し部長及び常任理事に変更する。

野村理事の選出母体変更に伴い、クロカンから湯本氏を理事に追加する。

古村理事の職場欄を「自営」に、派遣団体を「日盲連」と変更する

佐川監事の職場名にサービスを追加する。

HSAJの県協会については、身体を追加する

第4号議案 平成15年度事業計画案（p75 - 101）

各部局より以下の追加説明があり、拍手を持って承認した。

・組織図については、H14年度のままであるが、事務局で書き直しする。

・強化部

クロカン：横山久美子は現役を引退し現在オーストリア在中、テクニカルアドバイザーとして入ってもらった。

ジュニアの4人は、トリノ、次のパラリンピックに向けて強化をしていく。

太田渉子もジュニア（中3）であるが、中体連で競技をしてきており強化指定選手とした。シットスキーヤーがいなかったため、募集中である。

アルペン：東北の強化練習の拠点を作る。選手、監督、コーチとの連絡がうまくできなかったことを反省し、シーズン当初に合宿を検討している。

強化指定については、SAJDポイント100以内、世界選手権派遣については、FIS-Dポイントで150以内（FISDで世界選手権出場権としている）を候補選手とした。

JPCからは、選手10、役員8との非公式提示があるが、世界選手権出場権を獲得した選手は全員派遣したいと考え、選手16（ワイルドカード2含む）役員7で派遣を考えている。

WC、ECについては、強化指定選手で希望があれば、強化部が認めた役員が同行すること、自費での参加になる事を条件に認めたい。

強化部体制を確立するため、各正会員団体からも総務等選出してもらっている。

チェアスキー協会から沖川悦三、大房朋文を派遣する予定との報告があった。

IDからも田川選手が強化指定された。

普及部：要綱案の期日を全て3/6-7と訂正のこと。今シーズンはIDについて行う。

生徒をFIDから派遣してもらうなど、ID協会と連携して行う。

HSAJ、チェア協会の指導者などを名簿にして、指導者派遣のネットワークを考えている。

事業部：2004JPでは、資料のような日程となっている。アルペンはSGを、クロカンはスプリントレースを新規実施する。

指導者研修事業として、SAJ、SIAと共同しカリキュラム整理をしていく。

傘下団体とも共同して傘下団体の指導者制度との整合性を持たせていくことを考えている。

医学委員会：ドーピングマニュアルを作成し、研修会を実施する。ドクター、PTを派遣する体制を整える。IPC公認のクラスファイヤーが少ないため、研修等を実施していく。

正会員団体

HSAJ：「障害者アルペンスキーポイントレース（SG、GS）」を新設したので、ぜひ参加をお願いします。

チェア：チャンピオンシップにSGを新設した、日本チェアスキー大会はバイスキーなどの講習も実施している

ID：12月に初滑り、大会は同日開催であるが講習会と分離し選手権大会とする

事務局：国際委員会として、FISD公認大会を2005年シーズンに開催したいと考え、

検討を始めている。

広報委員会としては、HPがうまく動いていない状況があり、選手にも誤解を与える事があるため、しっかりとHPが動くようにしていく。

NPOの総合保険に加入し役員、代議員などの活動の補償ができるようにしていく。傘下団体においても、事故等があれば、報告をお願いしたい。

#### 第5号議案 平成15年度収支予算案（p102）

田中財務委員長より以下の追加説明があり、拍手を持って承認した。

H14年度は見込み収入で予算を作成し財政が破綻したため、H15年度は見込める収入を基に予算書を作成する方針とした。

個人正会員は、理事に個人正会員となってもらい会費を払ってもらう、但し、派遣理事の会費は免除する。

1,793,000円が基盤整備事業（スポーツ支援基金）に、250,000円が指導者講習会（日障研）、600,000円がJrパラリンピック（SSF）に決定している。支出金額については決定額ではなく、できるだけ切りつめて運営する方針である。

#### 第6号議案 入会金及び会費規定（p103）

野村事務局長より以下の追加説明があり、拍手を持って承認した。

連盟規定において会費の規定を設けてあるが、付則により設立時の条件を作っていたため、変更を提案する。理事に正会員になってもらうが、すでに入会済みであるため、入会金は免除する。

#### その他

専門部規定及び事務局規定について（p104 - 107）

野村事務局長より以下の追加説明があり、拍手を持って承認した。

連盟規定において専門部の設立を設けているが、事業部を設立したため、専門部規定の変更を提案する。事務局規定については、すでに承認済みであったが、付則が落ちていたので追加した。

#### 7. その他

兵後代議員より以下の質問があり、連盟として確認し文書にて回答することとした。

ソルトレイクの判定が永久判定とされているのかどうか確認して欲しい。

クラス分けのB1 - 3に該当しない場合もJPに出場できる様にして欲しい。

クラスが確定していなくても強化合宿に参加できる方法を検討して欲しい

#### 8. 閉会通告

議長が閉会を宣言した。

#### 9. 事務連絡

#### 10. 閉会あいさつ（伊佐副会長）